

第51期 第2四半期

決算説明会

本資料に記載した意見や予測は、作成日現在における弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
今後様々な要因によって、実際の業績や結果と異なる可能性があります。

2022年 3月22日(火)／札幌本社

 総合商研株式会社



Financial Results Presentation
for the Second Quarter of 51th term

第2四半期連結業績ハイライト

概要

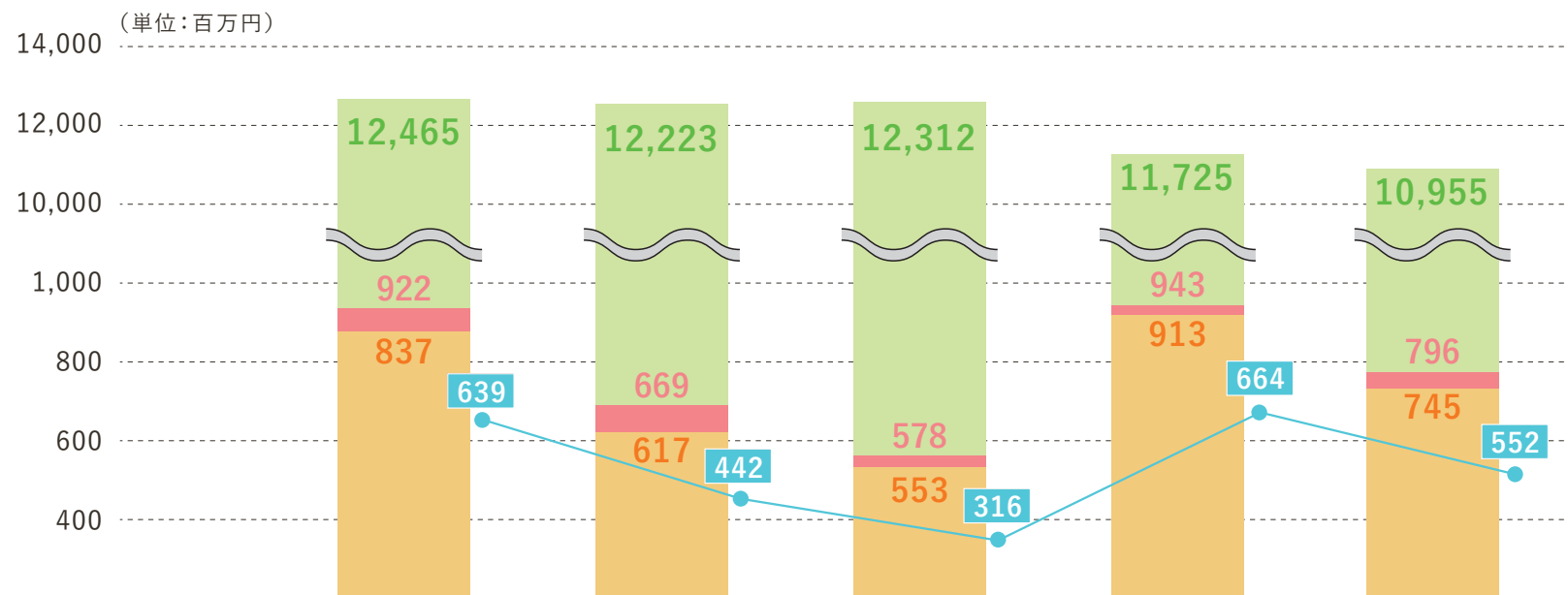
- 年賀状印刷は、前期受注のあった年賀商品の未実施により売上高が減少。
- 商業印刷は、近年の需要減少に加え新型コロナウイルスの影響により受注減。
- 前期に引き続き、**委託業務の内製化や作業工程の自動化により利益を確保。**

	第50期 第2四半期	第51期 第2四半期	増 減	増減率
売上高	11,725	10,955	△769	△6.6%
営業利益	913	745	△168	△18.4%
経常利益	943	796	△147	△15.6%
親会社株主に 帰属する当期純利益	664	552	△112	△16.9%

(単位:百万円)

第2四半期連結業績ハイライト

売上高 営業利益 経常利益 親会社株主に帰属する当期純利益



	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期 (単位:百万円)
売上高	12,465	12,223	12,312	11,725	10,955
営業利益	837	617	553	913	745
経常利益	922	669	578	943	796
親会社株主に 帰属する当期純利益	639	442	316	664	552

TOPIX

01. 新市場区分「スタンダード市場」の選択

当社は、2022年4月に予定されている東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、2021年12月20日に、スタンダード市場への選択申請を行いました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、スタンダード市場の上場維持基準のひとつである「流通株式時価総額10億円以上」の基準を充たしていないことから、適合に向けた計画書をあわせて開示しております。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (移行基準日時点)	804人	11,102単位	8.3億円	36.2%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25%
計画書に記載の項目			○	

流通株式時価総額の基準適合のため、株価向上と流通株式比率向上に向けた取組みを行ってまいります。

株価向上に向けた取組

- ・新たな事業領域の拡大・収益基盤の確保
- ・コスト削減
- ・人材の確保・育成
- ・IRを含めたコーポレートガバナンスの充実

流通株式比率向上に向けた取組

当社株式保有株主様との協議等

02. 「ふりっぱーnet」サービスエリア拡大

当社は、地域BWA(Broadband Wireless Access: 地域広帯域移動無線アクセス)システムの通信インフラを活用し、2020年11月に札幌市内の一部でWi-Fiによる一般向けインターネット接続サービス「ふりっぱーnet」の提供を開始しました。基地局申請により順次対象エリア拡大に努めており、本年1月末現在で札幌市内の約63%の世帯数をカバーするに至りました。1月末現在の契約数は約500件となっており、今後は広告等の強化により、更なる契約数の獲得を目指します。

ふりっぱーnet



TOPIX

03.年賀状事業

日本郵便(株)より、東京2020メダリスト公式フレーム切手の制作・事務局運営を受託。当社初となる、切手の印刷も担当いたしました。

また、当社においては、前期より徹底したコスト削減による利益の向上を図っております。前期に引き続き、今期も作業工程のシステム化や委託業務の見直しを図りました。

今期、年賀状印刷事業では、新たに自動帯掛けシステム、自動段ボール梱包・ラベル貼りシステムを導入したほか、ダイレクトメール封入作業の内製化を図り、コストの削減を実現しました。



04.地方創生事業取組みの強化

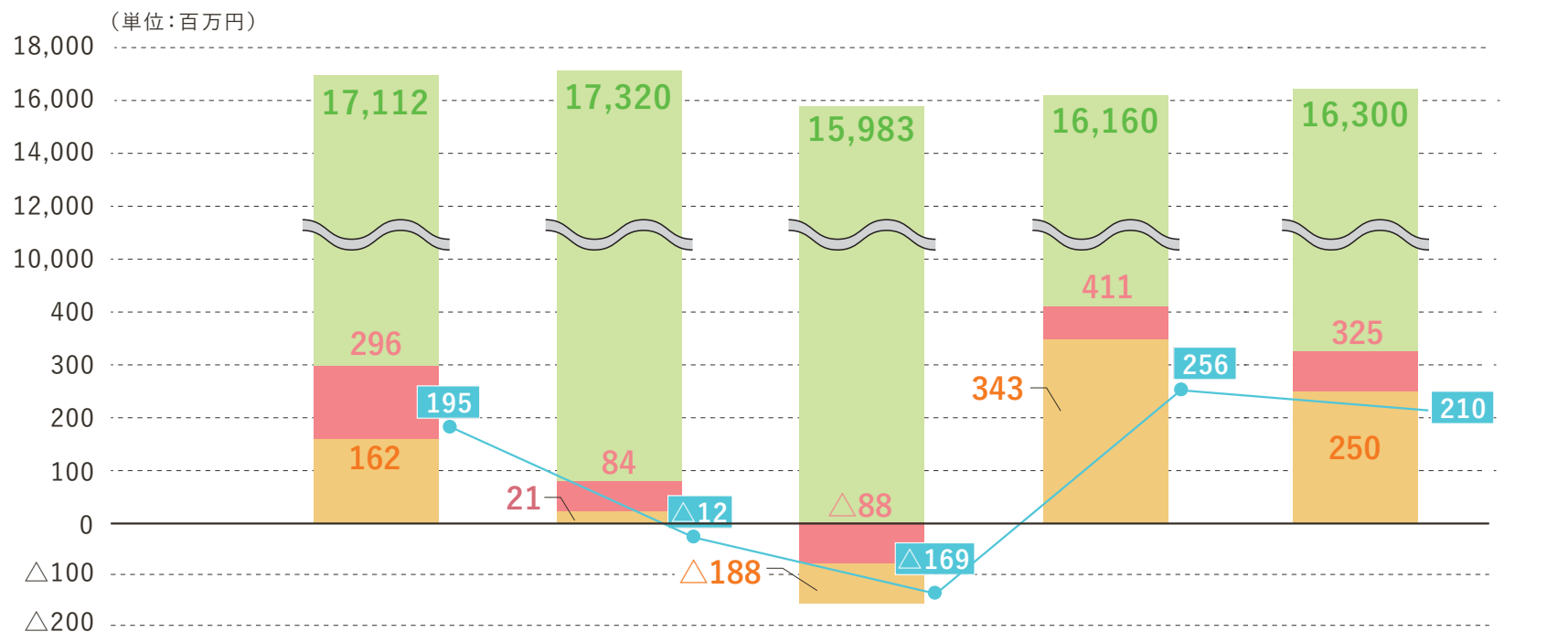
前年に引き続きオンライン開催となったさっぽろオータムフェスト2021でインターネット通信販売の代行事業を受託したほか、2年ぶりの開催となった道内の各自治体との協働による、地下歩行空間での各地特産品の物販事業「JP01まつり」を開催。また、当社の提案型事業として、道内6市町村のふるさと納税について、東京都内での告知、及び当社コールセンター設備の強みを活かした申込取次業務を実施いたしました。

当社は、持続可能な地域づくりに貢献するため、地域の様々な魅力発信、そして課題解決に向けた最適なソリューション提案事業を強化してまいります。



第51期の見通し 連結業績予想

- 売上高
- 営業利益または
営業損失(△)
- 経常利益または
経常損失(△)
- 親会社株主に帰属する当期純利益又は
親会社株主に帰属する当期純損失(△)



	第47期 (実績)	第48期 (実績)	第49期 (実績)	第50期 (実績)	第51期 (予想)	(単位: 百万円)
売上高	17,112	17,320	15,983	16,160	16,300	
営業利益又は 営業損失(△)	162	21	△188	343	250	
経常利益又は 経常損失(△)	296	84	△88	411	325	
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	195	△12	△169	256	210	

参 考 資 料



参考資料

四半期連結損益計算書(第2四半期)

	第49期 第2四半期	第50期 第2四半期	第51期 第2四半期	(単位:百万円) 対前期増減
売上高	12,312	11,725	10,955	△769
営業利益	553	913	745	△168
経常利益	578	943	796	△147
親会社株主に 帰属する当期純利益	316	664	552	△112

参考資料

四半期連結貸借対照表（第2四半期）

（単位：百万円）

	第50期	第51期 第2四半期	増減
現金及び預金	1,653	3,491	1,838
その他	2,232	3,510	1,278
流動資産合計	3,885	7,002	3,116
有形固定資産	3,876	3,771	△105
その他	1,625	1,648	23
固定資産合計	5,501	5,419	△81
繰延資産合計	0	1	0
資産合計	9,387	12,423	3,036

	第50期	第51期 第2四半期	増減
流動負債	3,959	6,620	2,660
固定負債	3,030	2,932	△97
負債合計	6,989	9,553	2,563
資本金	411	411	—
利益剰余金	1,178	1,677	499
その他	806	780	△26
純資産合計	2,397	2,870	472
負債純資産合計	9,387	12,423	3,036

参考資料

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（第2四半期）

	第50期 第2四半期	第51期 第2四半期	(単位:百万円) 増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,876	518	△1,357
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116	△193	△77
財務活動によるキャッシュ・フロー	978	1,525	546
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額	2,738	1,850	△888
現金及び現金同等物の期首残高	1,602	1,653	50
現金及び現金同等物の期末残高	4,341	3,491	△849